



さいたま新都心に一番近い学校

平成 29 年 3 月 号

平成 29 年 3 月 1 日

さいたま市立下落合小学校

電話 852-2280

FAX 852-0188

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

東風（こち）吹かば匂ひおこせよ梅の花・・・

校長 稲垣克行

本年度も後一か月、正門の白梅は開花し、中庭の紅梅は、つぼみが膨らみ開花まじかです。

2月には、卒業を迎える6年生と校長室での会食を行いました。しっかり話をする機会がとれていなかったもので、子どもたちによい時間をつくってもらいました。内容は、自己紹介とフリートークキングで、将来の夢、好きな食べ物や習い事などの話を聞くことができました。頼もしいなと思った言葉に、「私の将来の夢は、自分の力で生きていくこと」がありました。今はまだ保護者の庇護のもと生活しているけれども、将来は、親の庇護を卒業し、自立していこうと考えている力強さを



6年生との校長室での会食

感じました。

私も昔、「将来の夢」として「自分で食べていく」と言った思い出があります。当時、多くの同級生は、社長、博士、大統領、プロレスラー、野球選手、芸能人など当時の成功者といわれた職種が多くあったのを覚えています。私は、田舎の農家の二男であったので、明治生まれの祖母から長男は家を継ぎ、二男は家を出て「自分で食べていく」と教わっていました。時代は変わり、家族のありようも変わり、親の子どもにかかる時間も変わりました。6年生が、希望をもって卒業していくことは、大変うれしいことです。今の小学生は、21世紀の真中（2050年ごろ）の日本を支える人たちです。どんな世の中をつくるのか、将来が楽しみです。子どもたちに日本の未来を託したいと思います。

「東風（こち）吹かば匂ひおこせよ梅の花・・・（天神さま：菅原道真のうた）」に東風が使われています。与野東中の校訓に「東風（こち）薫る きれいな東中 光る汗」とあり、「春に東から吹く温かい風のことで、生命をはぐくむ風である」とのことです。いよいよ卒業、中学への進学です。悔いのない、思い出に残る日々になることを祈っています。



図書紹介（6年生のみなさんへ）

義務教育の最後の段階（中学校）に進みます。日本人として志をもった大人になってほしいと願っています。その入り口として是非読んでもらいたい本を紹介します。内村鑑三の「代表的日本人」、新渡戸稲造の「武士道」、100年前に外国人のために書かれた本です、三大日本人論と呼ばれる内の2冊です。大人としての教養を身に付ける入門書としては、最適だと思います